

Mizuho Daily Market Report

2024/4/29

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	156.71	158.33	+2.68	+3.69
EUR	1.0731	1.0693	▲0.0037	+0.0037
AUD	0.6543	0.6533	+0.0015	+0.0115
SGD	1.3602	1.3628	+0.0038	+0.0012
CNY	7.2459	7.2464	+0.0065	+0.0071
MYR	4.7732	4.7680	▲0.0080	▲0.0152
THB	36.95	36.96	▲0.06	+0.10
IDR	16215	16210	+22	▲45
PHP	57.68	57.69	▲0.11	+0.06
INR	83.34	83.35	+0.02	▲0.12
VND	25336	25339	▲20	▲91

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.663%	▲4.1 bp	+4.2 bp
日本(10年)	0.891%	▲0.8 bp	+4.0 bp
ユーロ圏(10年)	2.575%	▲5.5 bp	+7.5 bp
オーストラリア(5年)	4.202%	+10.9 bp	+30.6 bp
シンガポール(5年)	3.370%	+4.5 bp	+7.5 bp
中国(5年)	2.134%	+4.8 bp	+3.7 bp
マレーシア(5年)	3.807%	+1.6 bp	+5.7 bp
タイ(5年)	2.554%	+3.0 bp	+8.2 bp
インドネシア(5年)	7.107%	+3.1 bp	+8.5 bp
フィリピン(5年)	6.786%	+0.3 bp	▲1.6 bp
インド(5年)	7.177%	▲1.3 bp	▲6.8 bp
ベトナム(5年)	2.230%	▲3.0 bp	▲1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,239.66	+0.4%	+0.7%
N225(日本)	37,934.76	+0.8%	+2.3%
STOXX50(ユーロ圏)	5,006.85	+1.4%	+1.8%
ASX(オーストラリア)	4,423.59	+0.8%	+3.0%
FTSE1(シンガポール)	3,280.10	▲0.2%	+3.3%
SSEC(中国)	3,088.64	+1.2%	+0.8%
SENSEX(インド)	73,730.16	▲0.8%	+0.9%
JKSE(インドネシア)	7,036.08	▲1.7%	▲0.7%
KLSE(マレーシア)	1,575.16	+0.4%	+1.8%
PSE(フィリピン)	6,628.75	+0.8%	+2.9%
SETI(タイ)	1,359.94	▲0.3%	+2.1%
VNINDEX(ベトナム)	1,209.52	+0.4%	+3.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	296.84	▲0.3%	▲0.4%
金	2,337.96	+0.2%	▲2.3%
原油(WTI)	83.85	+0.3%	+0.9%
銅	9,852.84	+1.1%	+0.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	155.60	—	159.40
EUR/USD	1.0540	—	1.0850
AUD/USD	0.6390	—	0.6690
USD/SGD	1.3500	—	1.3680
USD/CNY	7.2050	—	7.2680
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	36.00	—	37.50
USD/IDR	16080	—	16300
USD/PHP	55.90	—	58.00
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は155円半ばでオープン。屋過ぎに公表された日銀会合では現行の政策金利が0%-0.1%に据え置かれ、同時に発表された展望レポートでは24年度と25年度の消費者物価指数(除、生鮮食品)の見通しが引き上げられるも、「経済・物価の見通しが実現し、基調的な物価上昇率が上昇していくとすれば、金融緩和度合いを調整していくことになるが、当面、緩和的な金融環境が継続すると考えている。」との文言が示された事を受け、市場では円売りが進み156円台に突入。その後は植田総裁の記者会見を控えて156円近辺での推移が続き、結局156円付近で海外時間に渡った。

アジア通貨はまちまち。フィリピンペソは中銀総裁から為替介入を示唆する発言を受け、前日に記録した直近最安値から0.2%小幅に回復。

海外市場のドル円は156円台後半でNYオープン。NY午前中に発表された注目の米3月コアPCE価格指数が堅調な伸びを記録した事や、ミシガン大学1年先の期待インフレ率が上方修正された結果を受け、ドル買いが優勢となり、157円台前半まで上昇。NY午後ドル買いの流れが続き、158円台半ばまで上値を伸ばし、その後158円台前半でクローズ。

【金利】

米金利市場は、長期を中心に低下しイールドカーブはフラット化。NY朝方発表されたPCEコアは強めな結果となったが弱めに出た指標もあり、また前日の金利急上昇に対する買い戻しの動きも見られ、午前の取引では金利低下で反応した後半はやや戻して終了となった。

【予想】

本日のドル円相場は底堅い展開を予想。本日は日本祝日、かつ米国時間も主要な経済指標の発表は特段予想されておらず、先週金曜のBOJで一旦は材料出尽くし・小休止の流れとなるか。一方で円安地合いが大きく転換する可能性は低いことから、一段の円安化の動きに注意したい。

【本日の予定】

(日本) 休場 昭和の日
(アジア) 3月 シンガポール 失業率
(欧州) 1Q 愛 GDP
(欧州) 3月 愛 小売売上高
(欧州) 4月 ユーロ圏 景況感 / サービス業信頼感指数 / 鉱工業信頼感指数
(欧州) 4月 ユーロ圏 消費者信頼感(確)
(欧州) 4月 愛 CPI(速)
(欧州) 4月 独 CPI(速)
(欧州) 4月 西 CPI(速)
(欧州) 伊 国債入札(5Y、10Y)
(米国) 4月 ダラス連銀製造業活動

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。